
広くも狭い大地

SoyTonto

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

広くも狭い大地

【Nコード】

N5621Q

【作者名】

SoyTonto

【あらすじ】

子どもたちは広大な大地に閉じ込められている。存在しない壁に圧迫される子どもたちの話

痩せた大地の上で、子どもたちは楽しげに走り回る。広い広いこの土地なら、徒競走もベースボールもフットボールもできるはず。遠くに見える地平線まで、誰が一番先に着くことができるか勝負しよう。何も無い、誰もいないこの赤茶けた広場で、ボールを誰が一番遠くに飛ばせるか勝負しよう。

でも誰も何もしない。同じ場所をぐるぐる回り、目的もなくただ走るばかり。子どもたちはベースボールを知っている。フットボールを知っている。でも誰も何もしない。同じ場所をぐるぐる回り、目的もなくただ走るばかり。

子どもたちは知っている。いかに大地が広がるかと、どれだけ地平線がはつきりと見えようと、ベースボールも、駆け比べも出来ないことを。コツキヨウが、見えない壁がそこにあるから。通ってはいけない線が引いてあるから。

ここから先は別の国。そこから十歩進めば更に違う国。ボールが向こうに飛んで行けば、取りには行けない。取りに行くには、オエライサンの許可が必要だから。

子どもたちは話を始める。ボクのオジサンはこっちの国、でもオバサンはあっちの国。ワタシのオジイチャンは二つ向こう、ワタシのオバアチャンはさらに向こう。

子どもたちは知っている。遙か彼方の地平線にたどり着くと、また新しい地平線が現れることを。向こうのくすんだ山に登れば、こつこつした広い大地を一望出来ることを。子どもたちは何でも知っている。ダツテエホンデヨンダカラ。

子どもたちは同じ場所をぐるぐる回り、目的もなくただ走るばかり。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5621q/>

広くも狭い大地

2011年10月6日23時21分発行